

一人で悩まず困ったら相談を 1月の各種無料相談カレンダー

相談会場ではマスクを着用し他の人との間隔をあけるよう、協力をお願いします。

各種相談の市ホームページはこちら →



相談	相談日	時間	会場	問い合わせ・備考
行政相談	4日(火)	午後1時～3時	西那須野公民館	●国、県、市など行政の仕事に対する意見や要望 ☎秘書課 ☎(62)7109
	12日(水)	午後1時～4時	いきいきふれあいセンター2階	
不動産相談 (予約制)	21日(金)	午後1時30分～3時30分	県不動産会館県北支部 (黒磯文化会館前)	※相談日当日までに要予約。 県宅建協会県北支部 ☎(62)6677

マザーズコーナー 出張職業相談	13日(木)	午前9時～正午	いきいきふれあいセンター 2階 子育て相談センター	●子育て中の人の出張就職相談 ハローワーク大田原 ☎0287(22)2268
	25日(火)	午後1時～3時	つどいの広場「ま〜る」 (南郷屋)	

※弁護士による法律相談は2月の日程。

弁護士による 法律相談(予約制) ※年度内1人2回 まで可。	2月1日(火)	午後1時30分～4時30分	いきいきふれあいセンター 2階 子育て相談センター	※1月24日(月)から受け付け開始。定員18人。 ☎社会福祉課 ☎(62)7135
	2月5日(土)	午後1時30分～4時30分	健康長寿センター	※1月24日(月)から受け付け開始。定員18人。 ☎市民福祉課 ☎(37)6231
広域無料法律相談 (予約制)	1月13日(木)	午後1時30分～4時40分	トコトコ大田原 市民交流センター (大田原市中央1丁目)	※1月6日(木)から受け付け開始。定員18人。 大田原市総務課 ☎0287(23)1111

人権相談	4日(火)	午後1時～3時	西那須野公民館	●人権相談、人権保護などの相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7135 ☎市民福祉課 ☎(37)6231 ☎総務福祉課 ☎(32)2912
------	-------	---------	---------	---

育児相談 (予約制)	17日(月)	午前9時30分～11時	西那須野保健センター	●保健師や管理栄養士などによる育児に関する相談 ☎西那須野保健センター ☎(38)1356
	20日(木)	午後1時30分～3時	黒磯保健センター	

健康相談 食生活相談 (予約制)	13日(木)	午前9時30分～11時	黒磯保健センター	●保健師や管理栄養士による健診の結果相談や、 その他心身の健康相談 ☎黒磯保健センター ☎(63)1100
	24日(月)	午後1時30分～3時	西那須野保健センター	
	28日(金)	午前9時30分～11時		

こころの相談 (予約制)	5日(水)	午前10時～正午	黒磯保健センター	●日本カウンセリング学会認定カウンセラーによる相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7026
	18日(火)	午後1時～5時	西那須野保健センター	

ポラリス☆とちぎ 出張相談会 (予約制)	17日(月)	午後1時30分～4時30分	西那須野公民館	●ひきこもりで悩んでいる本人、家族のための相談 ☎社会福祉課 ☎(62)7026
----------------------------	--------	---------------	---------	---

## 編集後記

今 シーズンの秋は、良い山と悪い山がある。2つの山を実感することになりました。まずは良い山の方ですが、なすしおばら映画祭で上映した「川のながれに」の撮影のため、10月下旬に1週間、塩原地区でロケ隊に同行しました。撮影初日では、少し早かった山の紅葉が日々色づいていき、終盤には見頃を迎えました。山々の変化を毎日間近で見たのは初めてでした。そして悪い山ですが、1週間振り返った職場は、仕事の山！ なかなか下山できない日々が始まってしまいました。新年には下山できていますように。(鈴木)

2 年ぶりに開催されたなしお博の取材に行ってきました。コロナの影響で、規模は小さかったとはいえ、会場の体育館いっぱい飾られた児童生徒の作品の出来栄には驚くばかりでした。会場の様子を撮影しながら、ふと、自分も小学生の時に書いた詩がまちの文化祭で張り出されていたことを思い出してしまいました。あまりに素直に書いてしまった内容に、当時、母親からは小言の嵐。世に作品を出すというのは、それなりの覚悟が必要なのだと悟った瞬間でした。令和4年はいい年になりますように。(大貫)



(左)大島 直也さん 製造一課原料加工二係 入社10年目 Oshima Naoya  
(右)荒井 里咲さん 製造二課製造二係 入社4年目 Arai Risa

## おいしい野菜ジュースで、みんなを笑顔に！

スーパーや量販店などいつでも見かける「野菜生活100」。カゴメ株式会社ではトマトジュースだけでなく、「野菜生活100」をはじめ、いろいろな野菜や果実を組み合わせて、砂糖や甘味料を使わない、体に優しくおいしく飲める新しい飲料を日々生み出しています。

機械のメンテナンスも大切な仕事

大島：自宅から近く、ネームバリューのある会社なので、入社を希望しました。今年4月に異動があり、現在は原料加工に従事していますが、それまでは飲料の製造業務に携わっていました。機械の不具合や修繕が必要などには、工具を扱い、溶接、金属加工なども行うので、高校で学んだ知識を生かせるよう思い出しながら作業しています。

荒井：地元に戻ってきて仕事を探していたときに、家から近く、昔から身近に感じていたので入社を希望しました。中学生のころから興味があり、いろいろな仕事ができそうだなと思ったことも入社の一因です。現在、ラインオペレーターとして紙パック製造ラインの充填・包装工程を任されています。入社したときは工具の名前や使い方も分かりませんでした。今では多くの工具を使って機械のメンテナンスをしていることに、自分でも驚いてい



カゴメ株式会社那須工場(西富山30)  
【業種】製造業  
【業務の内容】野菜・果実の飲料製造  
【問い合わせ】☎0287(36)0650  
※現在は、工場見学休止中。

「おっかった」の一言がやりがい

大島：9年間仕事をしていても、知らないことやできないことがたくさんあることを実感しています。それでも、お客さまからの手紙に「おいしかった」と書いてあるのを見ると、この仕事をやっていて良かったとやりがいを感じています。今後も新しいことを覚えていきながら、自分のやれることをしっかりやっていきたいです。

荒井：みんなで話し合いを重ね、試行錯誤を重ねて作業改善ができたときは、達成感でいっぱいでした。社内資格の標準化実践技能士を持っている人と一緒に仕事をしたときに、仕事の内容を感覚的に分かっているだけではなく、論理的に組み立てられれば、課題の解決や作業の改善をより効率的に行えると感じました。私も標準化実践技能士資格の取得を目指して頑張っています。